

どんど焼き



「どんど焼き」は小正月に行われる伝統行事。取り除いた新年の飾り類を焚いて祭る。一年間の災いを払い、豊作や商売繁盛、家内安全、無病息災、子孫繁栄を願う。未来を育てる思いも込めながら。

過去焼いて育てる未来どんど焼き

時松由美子

(寿大学・文芸部)

今月の推薦句

陋屋や築百年の隙間風

小野 恒己

「陋屋」とは狭くむさくるしい家ことだが自分の家をへりくだってという語でもあります。中七に築百年の家への愛着感が漂います。

初春や棚田百枚百の空

泉 溪

棚田は日本の原風景。確かに百枚の棚田には百の空。一行詩にすると改めて実景が目の前に浮かびます。

年号を三山も越えて屠蘇の味

富田 一主

昭和、平成。令和、三代を生き迎える新たな年。屠蘇の味もひととき味わいがあり酔いが回ります。共感の人生句です。

(選者・評) 2月は締め切りの日までに全句が揃いました。ご協力に感謝です。たかが一ページですが多いときは校正は3回も4回もして広報担当者にご苦勞を。でもできあがりを見ると喜びもひとしお。2月も優秀句ばかりです。次号も早目のご投稿をよろしく願います。(選者 一いりゆうしょう)

読者俳句

佳作 二十一席

父からの文の三行春兆す 直人
初釜や職人肌の菊花炭 重吉
七十路の寒餅切る手揺るぎなし 八千子
掌に仏と鬼の年の豆 豊國
苦みをも身上とせし路の臺 左世美
しずかに密避けマスク鬼は外 則子
冬耕の畦の一条土匂う 文子
棟の実見上ぐる先の故郷かな 律子
元朝や三年日記の一ページ ヨウ子
水仙の開きかけ急き筆を執る 香澄
ふりむけばその人もまた冬うらら 末子
風花に見とれて過ごす屋下がり 次江
悔しさよ歳と賀状の反比例 勝子
年新た祈る安全山の神 桐友
冴ゆる朝ビーンズベルトつくしく トシ子
節分や年の数ほど豆を撒く 良子
窓霜のへのへの文字ににらめっこ 純子
ニん月の重き記憶や家失火 チズ子
新春の万年筆や伴侶なる 好美
まるで蝶舞い散る姿ばたん雪 ムツ子
ざらめ雪ダイヤのように輝きて ヤスコ

3月号の締め切り／2月25日(必着)



『令和3年の火災・救急件数』

☎ 玖珠消防署 警防係 ☎ 72-2141

令和3年中に九重町内で発生した火災件数は12件で、前年度と比較すると6件の増加でした。

これから春先にかけて空気が乾燥し、火災が発生しやすくなります。火の取扱いには十分注意してください。

《火災種別》

- ・建物火災 3件
- ・林野火災 2件
- ・車両火災 3件
- ・その他火災 4件



《救急種別》

- ・急病 265件
- ・一般負傷 107件
- ・交通事故 33件
- ・転院搬送 11件
- ・その他 26件



※火災・救急件数については速報値になります。